

お使いの前に

お使いの前に

1、セットアップの方法

A、はじめてのセットアップ

(1) 桐のセットアップ

a、桐(製品版)のセットアップ

b、桐(体験版)のセットアップ

・桐体験版の入手

(2) 御書システムのセットアップ

B、バージョンアップ版のセットアップ

(1) セットアップの前に……ユーザーデータの退避と復元

(2) 御書システムのセットアップ

【参考】[「御書システム」フォルダの階層位置](#)

2、外字ファイルの設定

A、Windows9x/meの場合

B、Windows7/Vista/XP/2000の場合

(1) はじめて外字を設定する場合

(2) すでに外字を設定している場合

【参考】[「外字コピー屋さん」で外字を設定する\(推奨\)](#)

3、御書システムのアンインストール

A、御書システムのアンインストール

B、桐のアンインストール

[▲このページの先頭に戻る](#)

1、セットアップの方法

[▲このページの先頭に戻る](#)

御書システムは[日本語データベースソフト桐](#)の上で動くソフトです。御書システムを起動させるには、桐がセットアップされている必要があります。

本書は、御書システムを使いながら、実際に操作していただくことを目的に作っています。

セットアップの方法は、すでに桐をセットアップして御書システムをお使いの方と、まだ桐をセットアップしていない初めてお使いの方とでは、少々異なります。該当する説明をお読みください。

なお、桐ver6～8では、御書システムは起動しません。お使いの方は、桐の体験版(桐9-2012体験版)をセットアップして試用(試用期限30日)されることをお勧めします。桐9-2012体験版をセットアップしても、桐ver6～8は、そのままお使いになれます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

A. はじめてのセットアップ

(1) 桐のセットアップ

[▲このページの先頭に戻る](#)

a. 桐製品版のセットアップ

[▲このページの先頭に戻る](#)

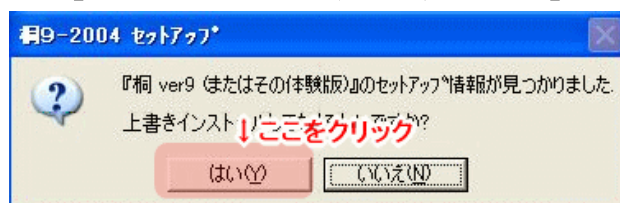
①パソコンが起動している状態で、「桐9-2012」のCDをドライブにセットします。「桐9-2012 セットアップメインメニュー」が自動的に立ち上がります。(立ち上がらないときは、CDドライブの「setup.exe」を実行してください)

②メインメニュー1段目の「桐のセットアップ」をクリックします。



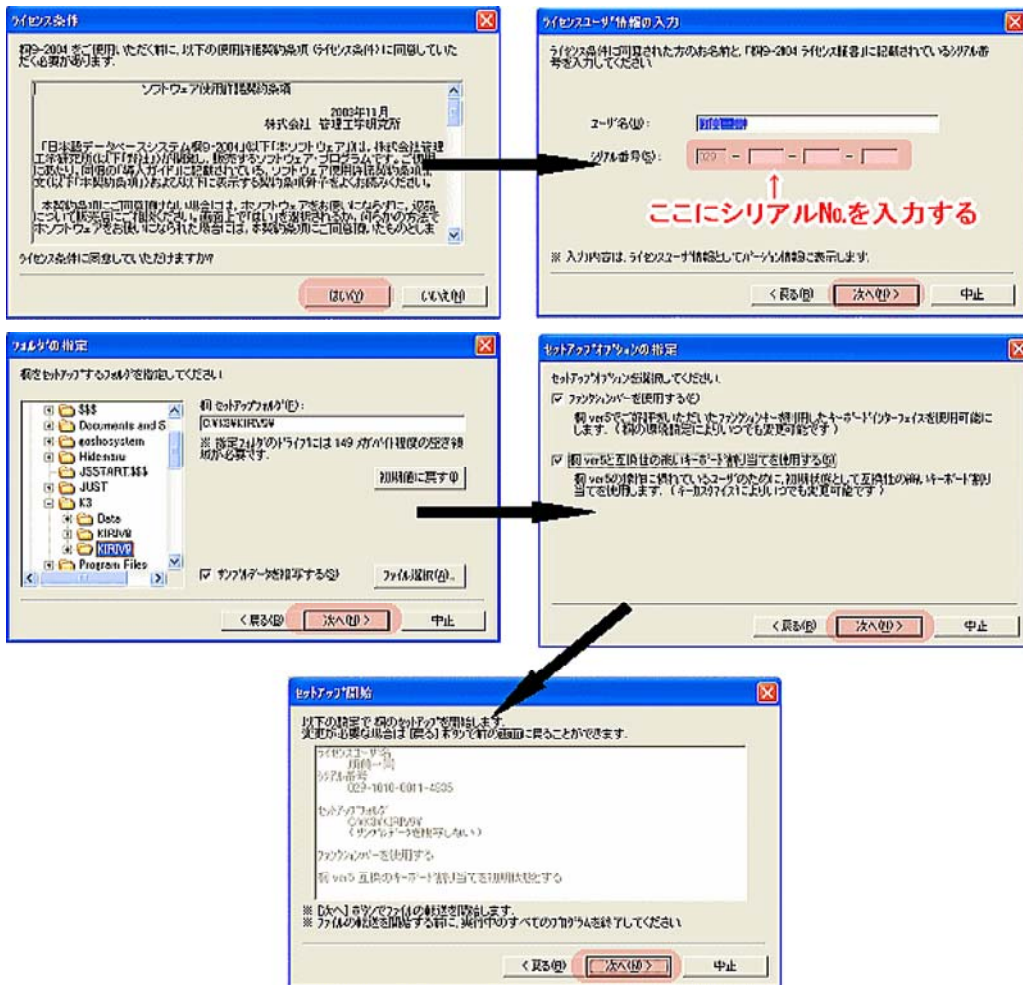
「桐のセットアップ」をクリックすると開始される

③桐ver.9以前を使ってこられた方には、「『桐ver.9(またはその体験版)』のセットアップ情報が見つかりました この桐を削除しますか？」とメッセージが出ますので、「はい(Y)」をクリックしてください。

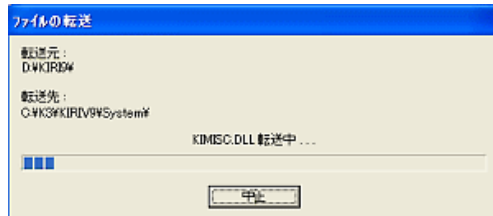


「はい」をクリックする

④画面の指示に従って「はい(Y)」のクリック、シリアルナンバーの入力、「次へ(N)>」をクリックして進みます。

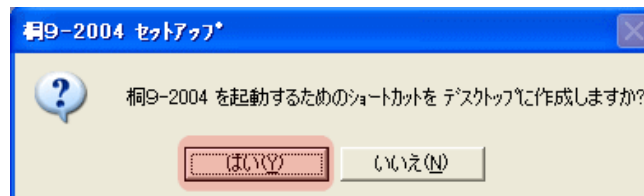


⑤「ファイルの転送」メッセージが出たら桐と御書システムのファイルが組み込まれていきます。



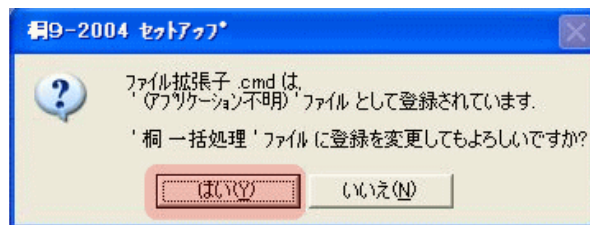
ファイル転送中を示す画面

⑥「桐のショートカットをデスクトップに作成しますか?」のメッセージが出ましたら「はい(Y)」をクリックします。



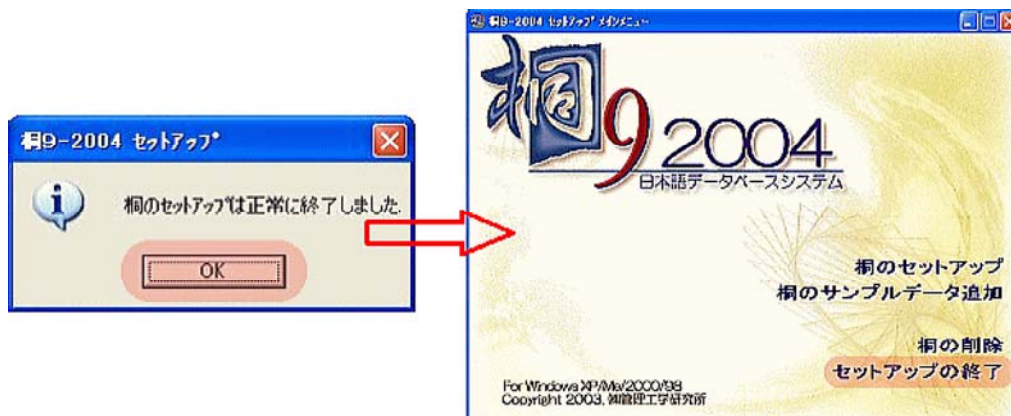
「はい(Y)」をクリックして、ショートカットをデスクトップに作成する

⑦この後、Windows 7/Vista/XP/NT/2000の場合は(98/Meでは出ません)、「ファイル拡張子.cmd は…… ‘桐一括処理’ ファイルに登録を変更してもよろしいですか?」のメッセージが出ます。必ず「はい(Y)」をクリックします。(続けて、他の拡張子について出てきた場合も、「はい(Y)」をクリックして下さい。)



Windows NT/2000/XP/Vista/7では、「ファイル拡張子.cmdは……‘桐一括処理’ファイルに登録を変更してもよろしいですか?」のメッセージが出たら、必ず「はい(Y)」をクリックしてください。

⑧「桐のセットアップは正常に終了しました」とメッセージが出ますので「OK」をクリック、ついで最初の「桐9-2012 セットアップメニュー」画面に戻りましたら、「セットアップの終了」をクリックします。これで桐のセットアップは完了です。



メッセージが出たら「OK」をクリックしてメインメニュー画面に戻り、「セットアップの終了」をクリックします。

▲このページの先頭に戻る

b、桐体験版のセットアップ

▲このページの先頭に戻る

桐の製品版をお持ちでない方は、体験版をインストールすることによって御書システムを使用することができます。

※桐の体験版に機能的な制限はありませんが、試用期間はセットアップの日より30日です。期間を過ぎて使用を継続される方は製品版をご購入ください。

※桐についての詳細は、ホームページ(<http://www.kthree.co.jp/kiri/index.html>)をご覧ください。

【桐体験版の入手】

桐の体験版は、ダウンロードサイト(下記URL)から入手して下さい。

<http://www.kthree.co.jp/kiri/try/index.html>

桐体験版

桐10 体験版

「桐10」の体験版をダウンロードしてご試用ください。

体験版

[桐10 体験版 ダウンロード](#) 対応OS : Windows 10/8.1/8/7/Vista

移行 ガイド

[桐10 移行ガイド](#)

桐9から桐10に移行する際の手順と注意点を説明しています。

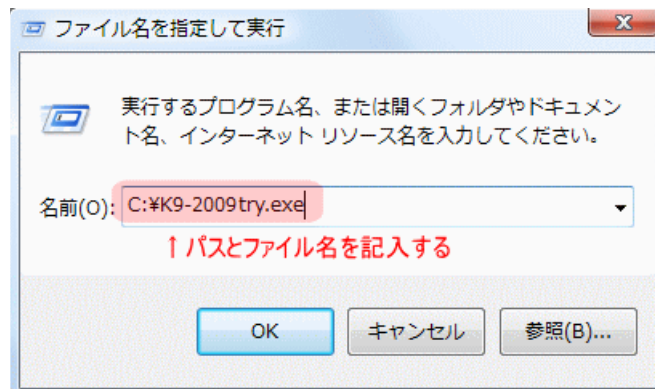
ご注意

- インストール後30日間試用することができます。
- 試用に関しての機能の制限は特に設けておりません。
- 体験版で作成したデータファイルは、製品版の桐10でもご利用になれます。
- 体験版を製品版に変更することはできません。
製品版をインストールする場合は、あらかじめ体験版をアンインストールしてください。

桐のダウンロードサイト。桐の体験版のダウンロードはこちらから

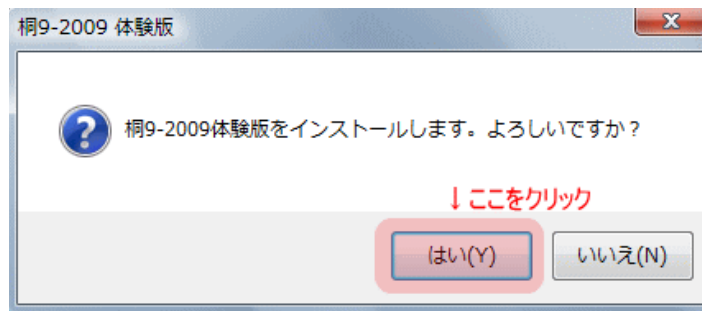
①桐体験版ファイルをダウンロードしたら、ファイルを実行してください。

ファイルの実行には、(1)ダウンロードしたフォルダに移動してダブルクリック(実行)する。(2)[スタート]ボタンから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ファイル名を指定して実行]と進み、「名前(O)」欄にパスとファイル名を記入するか、「参照」ボタンからファイルを指定して、「OK」ボタンをクリックして実行する。の2つの方法があります。いずれかの方法で実行して下さい。



フルパスでファイル名を記入する

②ファイルを実行すると、下のよう聞いてくるので「はい」をクリックすると、ファイルの解凍が始まります。



「OK」ボタンをクリックするとファイルのコピーが始まる

③以後は、上記【桐(製品版)のセットアップ】③～⑧に準じてインストールして下さい(シリアルナンバーの入力はありません)。

(2)御書システムのセットアップ

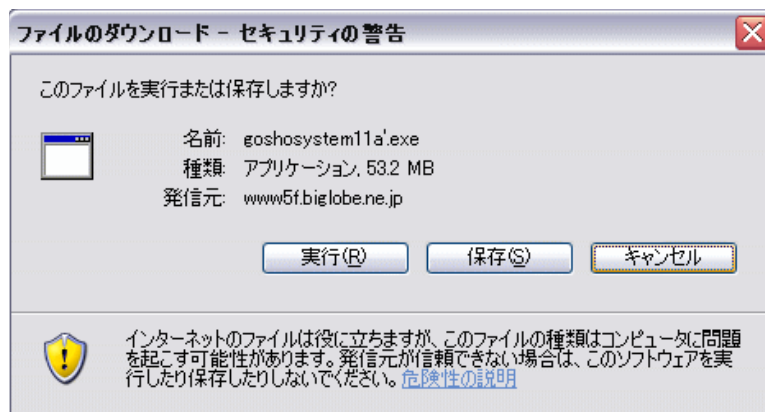
[▲このページの先頭に戻る](#)

①御書システムの最新版(ファイル名:goshosystem2015b.exe)は、御書システムのホームページ

<http://goshosystem.info/>

に置いてあります。ファイルをダウンロードしてお使い下さい。

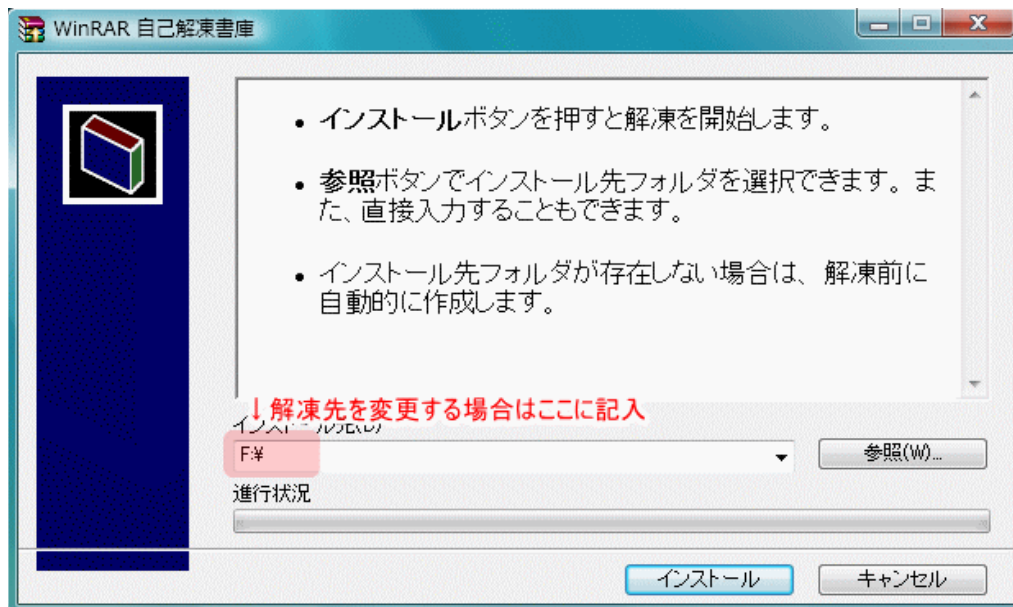
なお、ダウンロードに際し、「保存」(お使いのパソコンにファイルを残す場合)と「実行」(ファイルを残さず直ちに実行する場合)が選べます。(ファイルの保存は、ユーザーのわかりやすい場所にして下さい。)



直接実行するか、一度ファイルを保存するかが選べます

【「保存」を選んだ場合】…ファイルの保存場所は、任意です。

1. ダウンロードした goshosystem2015b.exe をダブルクリックして下さい。(自動解凍書庫ファイルです)
2. 解凍先フォルダは初期設定では[C:\%K3%Data](任意指定もできます)となっており、このフォルダに[御書システム]フォルダが生成されます。
3. 解凍を実行すると、御書システムのあるフォルダ(初期設定では[C:\%K3%Data\御書システム])に、ファイルを上書きコピーします。



例えば「F:¥」と記入すると、「F:¥御書システム」にファイルが展開される

【「実行」を選んだ場合】…ファイルはコンピューター内に保存されません。

1. 「実行」をクリックすると解凍が実行されます。解凍先フォルダは初期設定で[C:¥K3 ¥Data](任意指定もできます)となっています。このフォルダに[御書システム]フォルダが生成され、ファイルが上書きコピーされます)

以上で、作業は終了です。

デスクトップのショートカットをダブルクリックすると、御書システムが起動します。

※「保存」「実行」いずれの場合も、解凍を実行する際、初期設定ではスタートメニュー登録とデスクトップにショートカット作成をするようになっています。不要の場合は、チェックをはずして下さい。

※デスクトップ上のショートカットをダブルクリックしても「御書システム」起動しない場合は [こちら\(質問箱\)へ](#)

[▲このページの先頭に戻る](#)

B、バージョンアップ版のセットアップ

(1)セットアップの前に……ユーザーデータの退避と復元

[▲このページの先頭に戻る](#)

以前のバージョンをご利用時に、「御書本文画面2(メモ帳画面)」にて「メモ帳1」・「メモ帳2」に、ご自分のデータを書き込まれていた方は、2015年版bのセットアップ後もそのデータを継続してご使用できます。そのためにはユーザーデータの待避と復元の作業をしていただく必要があります。作業はセットアップの前と後の2段階で行います。(初めて使う方や、ご自分のデータを入力してこなかった方は、必要ありません)

※2015年版bには「ユーザーデータ復元.cmd」は含まれていません。復元は、メンテナンス画面の「3.メモの復元」から実行してください。

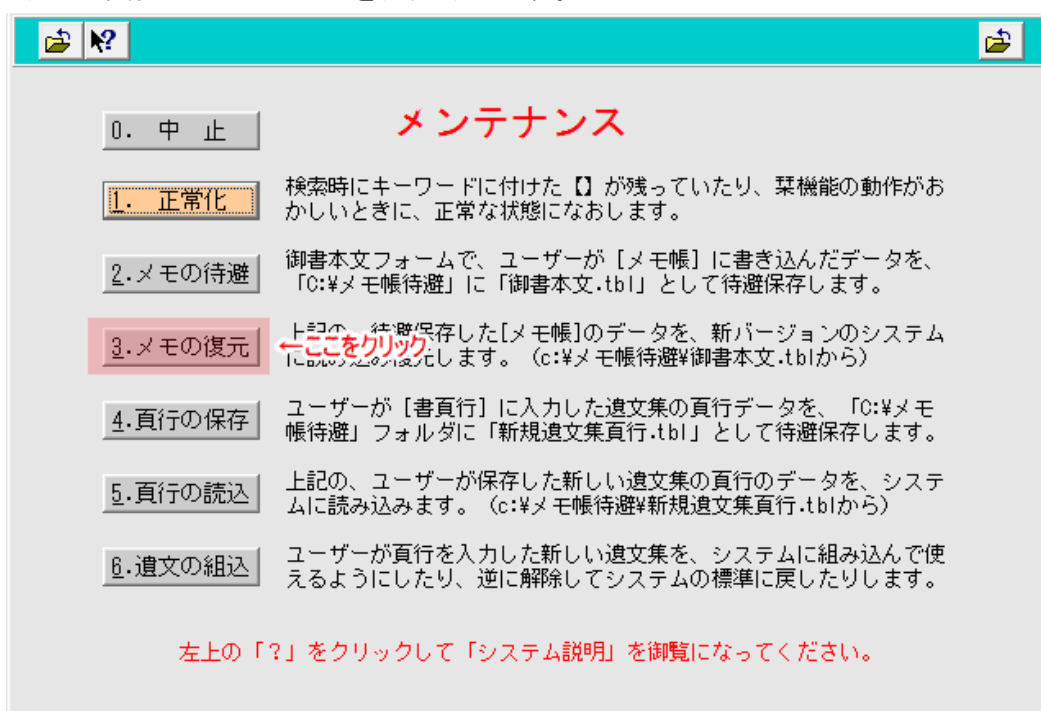
①セットアップの前。

お使いのユーザーデータを他の場所に待避させます。方法は、「御書本文.tbl」(お使いの2006年版g以前のバージョンのもの)を、メインメニューから **m. メンテナンス** → **2. メモの待避** とクリックし、「C:¥」に待避(コピー)しておいて下さい。(直接、「C:¥」へコピーも可です)

②セットアップの後。

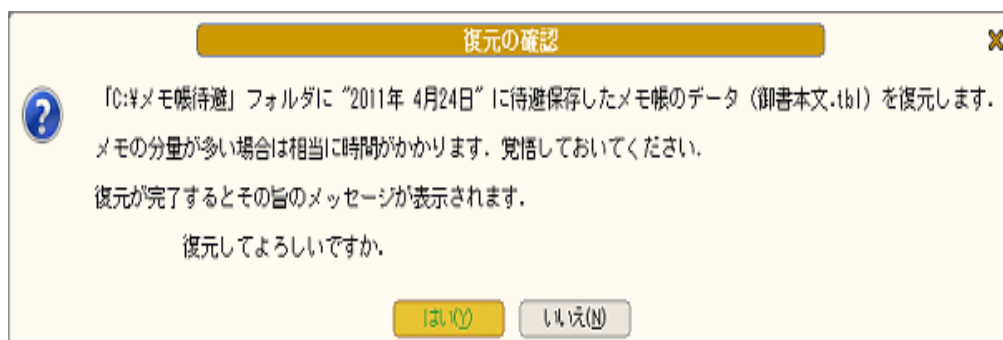
待避したデータを 2015年版 に復元させます。方法は、以下の通りです。

- a. 新しくセットアップした「御書システム」起動し、メインメニューの **メインメニュー** をクリックして、メンテナンス画面に移ります。
- b. メンテナンス画面の **3. メモの復元** をクリックします。



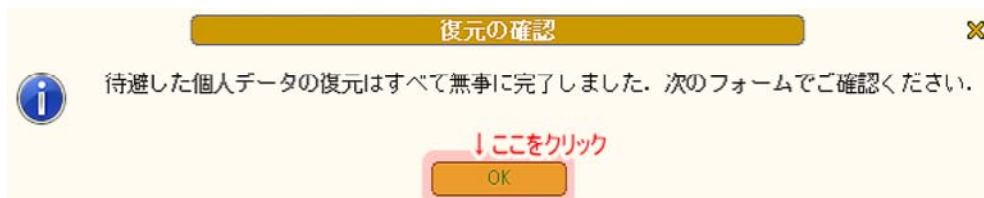
メンテナンス画面

- c. 次の画面が出たら、「はい(Y)」をクリック。




復元確認の画面

- d. 次の画面が出たら、「OK」をクリックして下さい。



復元終了を示す画面

e. 「御書本文.tbl」の表画面が出ますので、確認後、画面右上のをクリックして閉じてください。

これで、データは新しい「御書システム」(御書本文.tbl)に復元されました。今まで通りにご自分のデータをご使用になれます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

(2)御書システムのセットアップ

[▲このページの先頭に戻る](#)

御書システムのセットアップは、上記、

A、はじめてのセットアップ→[\(2\)御書システムのセットアップ](#)

と同じ手順です。

【参考】[御書システム]フォルダの階層位置

[▲このページの先頭に戻る](#)

※ファイルが転送された御書システムフォルダの階層位置
御書システムのファイルがあるフォルダは、初期設定では、
「C:¥K3¥Data¥御書システム¥」
となっています。(任意のフォルダへの移動も可能です。)



[御書システム]フォルダの階層位置

[▲このページの先頭に戻る](#)

2、外字ファイルの設定

[▲このページの先頭に戻る](#)

御書システムで使用している文字の中には、Windowsで標準にサポートしていない文字が、多数使用されています。

それらの文字をサポートするために作られた文字を「外字」といい、それらを1つのファイルにまとめたのが、外字ファイル(「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」)です。このファイルは、御書システムをインストールしたフォルダ内の 外字フォント フォルダ(初期設定では[C:\K3\Data\御書システム\外字フォント])の中にあります。

御書システムでそれら外字を表示するためには、あらかじめ外字ファイルを登録・設定する必要があります。

なお、この外字ファイルの登録は、OSとしてのWindowsへの登録となるため、御書システムだけでなく、Windows上で作動するすべてのアプリケーションに反映され、使用が可能になります。

以下、外字の登録方法を説明します。

〈重要〉「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」は Windowsのアクセサリ 外字エディタ標準の外字ファイルです。すでに 外字エディタ で、独自に外字を作成されている方は、あらかじめ「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」ファイルのバックアップ(フロッピーや別フォルダなどにコピー)をしておき、後で今回設定した新しい「EUDC.TTE」ファイルに再登録してください。上書きすると今まで作成していた外字が使えなくなります。※すでに作成していた外字を、新「EUDC.TTE」ファイルへ再登録する場合は、バックアップしていた旧「EUDC.TTE」ファイルを、外字エディタ で一時的に別フォントへ登録し、選択した任意のコード(この場合のフォントは、標準のシステムフォント(SystemDefaultEUDCFont)になります)へ1字ずつコピーして保存すれば完了です。

※外字を設定しない場合、当該箇所は「・」と表示されます。

真蹟直読

され・日本國の / ・・(一切)女人の御か・き・虎狼よ・・山賊(→賊)海 / 賊よ・・父母の敵とわ・等よ
・・法花經を・を・・す / ・て念仏等をを・うるこそ一切の女人 / の御か・き・れ /

門下字本

され・日本國 / ・一切女人のか・・・虎狼よ・・山賊 / 海賊よ・も父母・か・きよ・・法華 / 經を・・
しへすして念佛を・しふる / 人々こ・一切の女人・か・き・れ

外字を設定していない場合

上
真
蹟
直
説

されハ日本國の / □□(一切の)女人の御かゝきハ虎狼よれ毛山賊(→賊)海 / 賊よれ毛父母の敵とわぞ等よ
れ毛法花經をハをまねす / ちて念仏等ををまうるこそ一切の女人 / の御かゝきふれ /

下
門
下
写
本

されハ日本國 / 乃一切女人のかぎハ虎狼よれ毛山賊 / 海賊よれ毛父母乃かゝきよれ毛法華 / 經をハわ
しへずして念佛をわしふる / 人々こそ一切の女人ハかゝきふれ

外字を設定した場合

《外字の設定方法》

[▲このページの先頭に戻る](#)

※簡単に設定できる、[推奨の外字設定方法は、こちら](#) (パソコンが不得手の方にお勧め)

以下は、通常の外字設定方法です。

〈注意〉

作業は、パソコンを起動した直後に行ってください。パソコンを起動して御書システム等のソフトを立ち上げた後に「EUDC.TTE」等のコピーを行おうとしてもできません。この場合は、再起動してから、再度上書きコピーをしてください。

A、Windows9x/meの場合

[▲このページの先頭に戻る](#)

エクスプローラ などを使って御書システムフォルダのサブフォルダ 外字フォント (初期設定では [C:\K3\Data\御書システム\外字フォント]) 内の「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」を C:\WINDOWS フォルダ内にコピーし、Windows標準の外字ファイルである「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」に上書きします。

この後、Windows を再起動すれば、御書システム添付の外字ファイルが登録され、外字が表示されます。

[▲このページの先頭に戻る](#)

B、Windows7/Vista/XP/2000の場合

(1)はじめて外字を設定する場合

[▲このページの先頭に戻る](#)

エクスプローラ などを使って御書システムフォルダのサブフォルダ 外字フォント (初期設定では [C:\K3\Data\御書システム\外字フォント]) 内の「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」を C:\WINDOWS\FONTS フォルダ内にコピーし、Windows標準の外字ファイルである「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」に上書きします。

この後、Windows を再起動すれば、御書システム添付の外字ファイルが登録され、外字が表示されます。

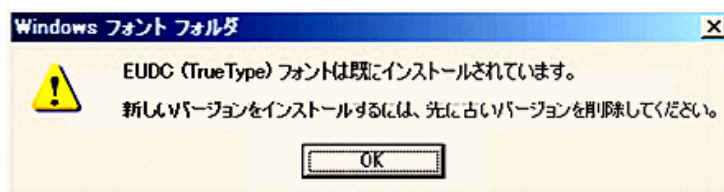
※新しいパソコンで外字を設定する場合、たまに「EUDC.EUF」は無効であるか、壊れています」等のエラーメッセージが出て、「EUDC.EUF」がうまくコピーできないことがあります。そのようなとき

は、あらかじめWindows付属の外字エディタ([スタート]→[すべてのプログラム(P)]→[アクセサリ]→[外字エディタ]で起動)を、一度起動した後に外字のコピーをするとスムーズにいくようです。

(2)すでに外字を設定している場合

[▲このページの先頭に戻る](#)

すでに Windows で外字エディタを一度でも起動したり、外字を個人で作成している場合は、「EUDC(TrueType)フォントは、すでにインストールされています。新しいバージョンをインストールするには、先に古いバージョンを削除して下さい。」あるいは機種によって、「フォントをインストールできません。ファイルC:********\EUDC.EUFは無効であるか、壊れています。」等とエラーメッセージが表示され、ファイルのコピーができないことがあります。

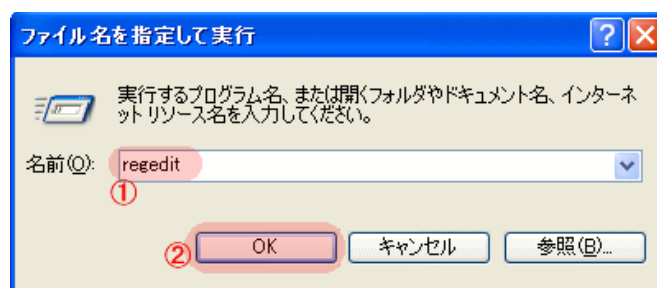


エラーメッセージの一例

この状態を解消するには、次の3段階の処理を行って下さい。

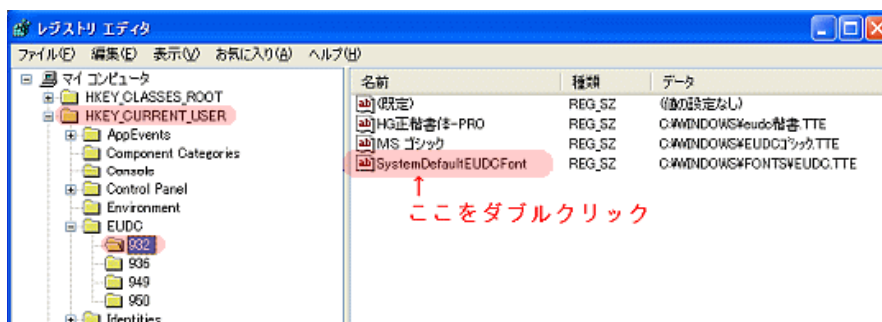
- A、段階…レジストリエディタで「EUDC.TTE」の拡張子を変更し、再起動する……(1)(2)(3)
- B、段階…2つのEUDCファイルを C:\WINDOWS\FONTS にコピーする……(4)
- C、段階…レジストリエディタで「EUDC.TTE」の拡張子を元に戻し、再々起動する……(5)

①[スタート]ー[ファイル名を指定して実行] で regedit と入力、[OK]をクリックして レジストリエディタを起動します。



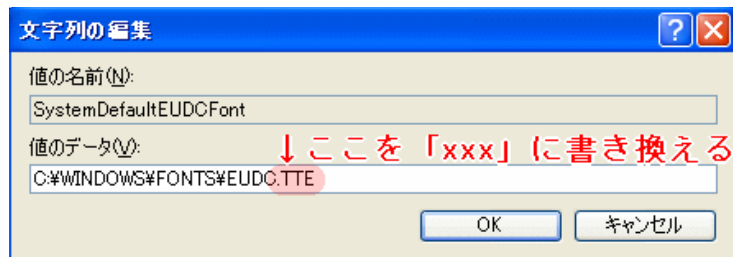
レジストリエディタを起動する

②起動したら、左側のツリーから、
HKEY_CURRENT_USER\EUDC\932
と展開します。



「HKEY_CURRENT_USER」→「EUDC」→「932」と順にクリックしていく

- ③右側の SystemDefaultEUDCFont をダブルクリックし、値のデータとして
C:¥WINDOWS¥FONTS¥EUDC.TTE
となっているところを、
C:¥WINDOWS¥FONTS¥EUDC.xxx (xxxは任意)



「TTE」の部分で「xxx」と書き換える

などに変更してレジストリエディタを終了し、Windows を再起動します。

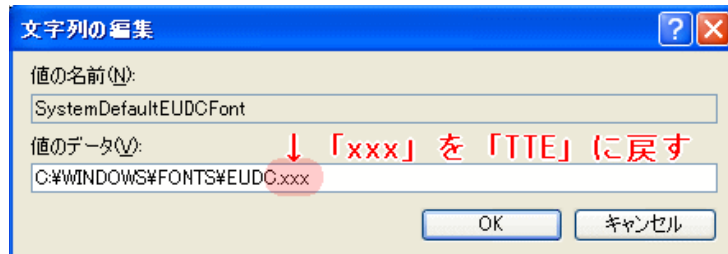
※PCによっては、SystemDefaultEUDCFont の値のデータが「EUDC.TTE」となっている場合があるようですが、必ず「C:¥WINDOWS¥FONTS¥EUDC.TTE」とフルパスとなるよう追記して下さい。

- ④再起動後、エクスプローラなどを使ってEUDC.* («EUDC.TTE」「EUDC.EUF」) ファイルを
C:¥WINDOWS¥FONTS フォルダへコピーします。

- ⑤再度(1)(2)と進め、(3)の手順で、
C:¥WINDOWS¥FONTS¥EUDC.xxx
と変更していた箇所を、

C:¥WINDOWS¥FONTS¥EUDC.TTE

に戻してレジストリエディタを終了し、Windows を再起動すると、御書システム添付の外字ファイル
が登録され、外字が表示されます。



「xxx」と書き換えていた部分を「TTE」に戻す

※なお、OSをWindows9x/Me/NT/2000から7/Vista/XPにアップグレードした場合、「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」ファイルの置かれている場所がWindows標準の C:¥WINDOWS¥FONTS ではなく、C:¥WINDOWS¥SYSTEM、C:¥WINNT¥FONTS等となっている場合があります。この場合は、ファイルのコピー先を当該フォルダに変更してください。(Windows9x/Meの場合は、ファイルをコピーした後、レジストリエディタで「値のデータ(V)」をWindows標準の C:¥WINDOWS¥FONTS¥EUDC.TTE に書き換えることも可能です)

[▲このページの先頭に戻る](#)

【参考】「外字コピー屋さん」で外字を設定する(推奨)

外字ファイルの設定が、「難しい」、「面倒だ」との声が、係に多数寄せられておりましたので、外字をもっとも簡単に設定できるフリーソフト「外字コピー屋さん」を使った外字設定の方法を紹介します。

「外字コピー屋さん」は、インストールした御書システムのフォルダ内の「外字フォント」フォルダ(初期設定では[C:¥K3¥Data¥御書システム¥外字フォント])に、同梱してあります。

《「外字コピー屋さん(ファイル名 : cpeudc.exe)」とは》

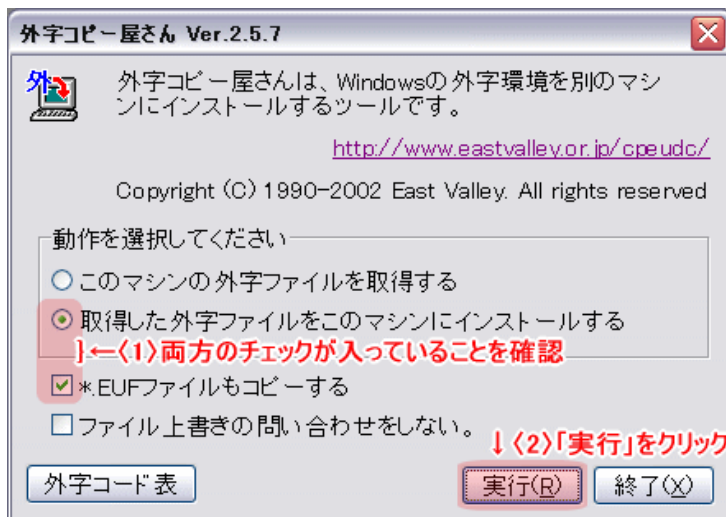
外字コピー屋さんは、本来、Windows の外字環境を、別のマシンのWindowsにインストールするツールです。このツールを使えば、複数台のマシン間で外字を共通化することが簡単にできます。標準の外字だけでなく、各フォントにリンクされた外字もコピーします。つまり、明朝体やゴシック体などで、別の外字を使用している場合でも、リンク情報ごとコピーすることができます。外字のインストール後に再起動する必要はありません。

このプログラムは、Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista/7のいずれでも動作します。外字ファイルは、上記の各OSで共通して使うことができます。

《外字ファイル設定の手順》

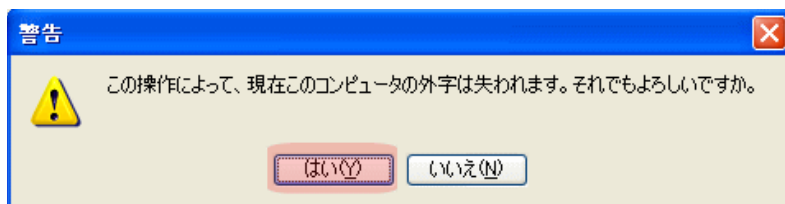
《失敗しないために》新しいパソコンで、一度も「外字エディタ」を使用したことがない場合は、エラーメッセージが出て「EUDC.EUF」がコピーできない時があります。それを回避するために、あらかじめ一度「外字エディタ」を起動(スタート→すべてのプログラム(P)→アクセサリ→外字エディタと、順にクリックして起動。何もしないですぐに終了)しておくくと便利です。

1. デスクトップ上にあるマイコンピュータ(エクスプローラ)をダブルクリックして起動し、御書システムのインストールしてあるフォルダに移動します。
2. 「御書システム」フォルダ内の「外字フォント」フォルダ(初期設定では[C:¥K3¥Data¥御書システム¥外字フォント])に、「外字コピー屋さん(ファイル名 : cpeudc.exe)」がありますので、ダブルクリックして実行します。
3. 「外字コピー屋さん」が起動します(下記画面)ので、〈1〉「取得した外字ファイルをこのマシンにインストールする」のトグルボタンと、「*.EUFファイルもコピーする」にチェックが入っていることを確認し、〈2〉「実行(R)」をクリックします。



外字コピー屋さんの起動画面(「御書システム」内の「外字フォント」フォルダから起動)

4. 「実行(R)」をクリックすると、下の画面が表れますので、「はい(Y)」をクリックします。



「外字フォント」の上書きを確認する画面

5. 外字の設定が終了すると、下のような画面が出ますので、「OK」をクリックしてください。



「外字フォント」のインストール終了を知らせる画面

6. 「外字コピー屋さん」の画面に戻ったら、「終了(X)」をクリックして終了してください。

以上で外字ファイルの設定は終了です。

[▲このページの先頭に戻る](#)

3、御書システムのアンインストール

A、御書システムのアンインストール

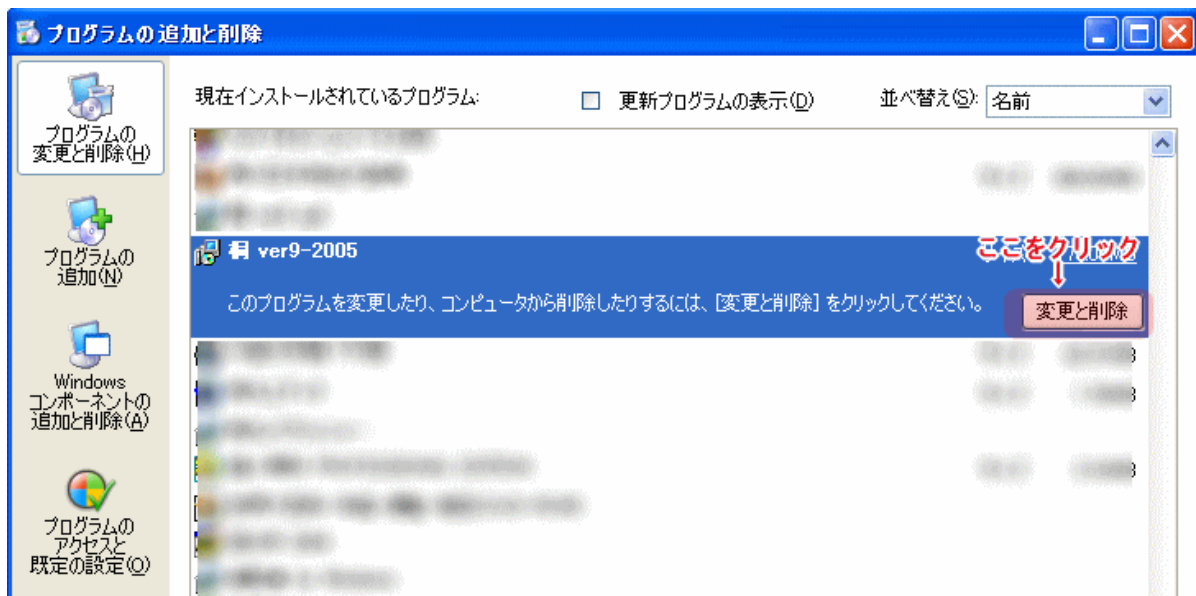
[▲このページの先頭に戻る](#)

御書システムをアンインストールする場合は、御書システムの全ファイルをフォルダごと削除すれば、アンインストールは完了です。

B、桐のアンインストール

[▲このページの先頭に戻る](#)

桐のアンインストールは、[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]へ移動し、「現在インストールされているプログラム」の中から、桐を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックし、画面に現れる指示に従ってアンインストールを行って下さい。



桐の削除は、[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]から行なってください

▲[このページの先頭に戻る](#)